

ぶな

2023年8月号
NO. 533



滋賀県勤労者山岳連盟 比良雪稜会

巻頭言

H野 Y 治

先日、諏訪中央病院から「凍傷治療を受けた患者の皆様へ退院後の経過を調べるアンケート調査」が届いた。八ヶ岳で左手の親指以外9本の指が凍傷になる重大事故を起こしてからもう10年が経った。現在は、日常生活に全く不自由はなく凍傷になったことも忘れてしまっている。入院すぐに病状と治療方法説明を受けた「治療は指をなるべく長く残すためのもので切断も覚悟しておいてください」。本人は覚悟できても、家族にとっては、“何が何だか”説明中に涙が出るほど大変ショックなことであった。登山は自己責任といわれるが、事故を起こすと周りの人たちに大変迷惑と心配をかけることになってしまうのです。

山行当日の記録は省略しますが、下山時には手の指は感覚がなく紫色で自分では靴紐が結べない状態だった。立ち寄った行者小屋で帰りに諏訪中央病院で診てもらうようにとアドバイスを受け病院で診てもらうと、凍傷Ⅱ度強で即入院、即高圧酸素治療が始まった。次の日には、指が水膨れで2倍ほどの太さになっていた。滋賀に戻ってから翌日治療できる病院を探していたらどうなっていたのかと思う。治療は、朝晩の高圧酸素治療と一日中の点滴。毎日、血液検査をするのですが、組織崩壊を示す数値が一向に下がらなかった。

ゴールデンウィーク中も含めて2週間入院した。休み中には高圧酸素治療は休みになるようだったが、「休み中も治療をしてほしい」と担当の先生がお願いに回っていたことを高圧酸素治療技師の方から聞いた。また、退院の時に先生から「濱野さんと私は同い年です。とにかく何とかしたかった。全力で治療しました。」と仰っていただいた。早期に専門医に診てもらい治療がはじめられたこと、良い先生に出会えたこと、感謝しても感謝しきれない思いです。

自分自身でも凍傷について、少し勉強をしました。皆様と凍傷も含めて山のリスクについて勉強する機会を設けられたらなと思っています。

私の治療の記録は、付属看護病院の授業で使用され役立っているそうです。

目 次

	ページ
1 巻 頭 言 -----	1
2 目 次 -----	2
3 おしらせ -----	3
4 【例会山行報告】	
福井/赤兎 1629M -----	4
日本コバ（鈴鹿 10 座） -----	6
比叡山と祇園祭 -----	8
【個人山行報告】	
鈴鹿の上高地テント泊 -----	10
宝剣～木曾駒～三ノ沢 -----	12
5 【会議報告】	
第 5 回運営委員会 -----	14
2023 年全国自然保護担当者会議報告 -----	16
6 【新入会員自己紹介】 -----	18
8 月の予定表 -----	19

表紙写真：祇園祭
撮影者：F川T郎
日時：2023.07.14

【おしらせ】

☆ 後期会費等振り込みのお願い ☆

後期会費を納入いただく時期となりました。労山特別基金(2023年9月1日～2024年8月31日分)の振り込みも合わせお願い致します。口数に変更のある方は8月10日までにご連絡いただきますようお願い致します。(その日を過ぎますと事務手続きの関係上、受け付けることが出来なくなりますので、ご了承ください。)

また、発送しました振り込み用紙の請求金額に不明な点等ございましたら、会計中村までご連絡ください。金額を確認の上、過不足なくお振り込みいただきますようご協力お願いします。

労山基金担当 K 林
会計 N 村

☆ ホームページの原稿作成手順について ☆

ぶな編集班リーダーの任務が増えました!!!

これまでホームページに載せる例会報告は各例会の記録担当者が作成して例会リーダーに送り、チェックした後、HP用原稿を作成し、ホームページ担当役員(現在は伊東委員)に送るようにしていましたが、その他のホームページの原稿(ぶな表紙、目次、個人山行記録、写真など)はそれぞれ手順が異なっており、作成手順が複雑でした。

そこで、HPのぶな関連記事については**毎月ぶな Word 版原稿を編集班リーダーが HP 担当役員に送り、役員は HP 用に修正し**(個人名をイニシャルに変更など)、HPにアップするよう統一することに、7/12日(火)の運営委員会で決定されました。HPの記事は少し遅くなりますが、作成手順は単純明快になりました。ぶな編集班リーダーの皆様には少し作業が増えますが宜しくお願いいたします。

ぶな編集担当 F 川

《例会山行報告》

福井/赤兎山 1629M

(日 時) 2023年6月18日 日曜日 晴れ

(参加者) CLN尾、SLH島、F野、H浦、S水、N村高、K原、N村(記録)

(行程)

6:20 和邇河川敷駐車場集合

6:25 和邇駅

7:05 南条SAトイレ休憩

9:05 入山ゲート 地域環境保全協力金1人につき400円支払う。料金所の方に「140台分の駐車場があるが、すでに満車で路駐になるかもしれない。ゲートは17:00に閉まるので、それまでに下山するように。」と言われる。

9:30 駐車場 入山ゲートから駐車場までは思った以上に距離があった。駐車場は2箇所に分かれており、上は満車で、下の駐車場に停めることができた。風が吹き涼しい。各自で準備体操。

9:45 赤兎山・大長山登山口 今日赤兎山に登るが、大長山にも行きたいという希望があがる。

(登山口～小原峠) ブナ林がきれい。涼しいと感じたのも駐車場だけで、歩き出すとすぐに汗をかく。渡渉が3回あった。下山して行く多くの人とすれ違う。

10:30 小原峠 休憩。

(小原峠～大舟分岐) 滑りそうな道がつづく。下山時が心配だ。

11:05 大舟分岐 休憩。マイヅルソウが咲いていた。

11:20 赤兎山山頂 360° 眺望良好。白山と別山、荒島岳もよく見える。集合写真を撮る。例会にあまり参加されない会長とのツーショット撮影会が始まり、会長大人気。

(赤兎山山頂～避難小屋) 高原、赤い避難小屋、向こうには白山連峰の素晴らしい景色が広がる。赤池湿原にはたくさんのモリアオガエルの卵がぶら下がる。ニッコウキスゲは咲いていないと思っていたが、小原さんが写真に収めてくれていた。

11:55 避難小屋

12:00 展望台 展望台は狭く、避難小屋まで戻り昼食をとることにする。

12:05 避難小屋 避難小屋の中は人が多く、小屋の付近で12:40まで昼食タイム。

13:00 赤兎山山頂 白山見納め。登りと同じルートで下山する。

13:15 大舟分岐 休憩。滑りやすい道に備えてF野さんはアイゼン装着。会長とN尾さんは傾いていた道標の修繕。

(大舟分岐～小原峠) 滑りそうなので、いつも以上に気をつけて歩く。また、リーダー

の N 尾さんが上手く迂回を利用しながら先頭を歩いてくれた。

13:45 小原峠 休憩。F 野さんはアイゼンを外す。

14:30 登山口

14:35 駐車場 朝、満車だった駐車場に車はほとんど残っていなかった。

14:50 終了式 南条 SA で会えないかもしれないので、先に終了式を済ませておく。解散。おつかれさまでした。

赤兎山の名前の由来は、雪解けのときに山肌にうさぎの形がでるからとか、丸みのある優しい山のかたちがうさぎのように見えるからなどと言われているそうです。紅葉の季節は、山が真っ赤に染まり、名前のおり「赤いうさぎ」のような姿をあらわすそうです。 (記録：N 村)



《例会山行報告》

日本コバ(鈴鹿 10 座)

日 時：2023 年 7 月 2 日 (日) 晴れ

参加者：CL:H 島 (記録)・SL：N 尾・O 村 M・O 村 C・N 村・S 水・F 川・K 林・T
中 T 計 9 名

行 程：堅田駅 8:00＝奥永源寺溪流の里前登山者用駐車場 11:00～如来堂登山口 11:15
～カツラの大木 11:55～政所道出合～湿原 (昼食) 13:30～日本コバ (山頂)
14:30～政所道出合～大山谷林道との分岐～政所町 16:45～駐車場 17:21 (解
散)

旧 421 号入口 (石樽トンネル方面との分岐) で通行止めとなる。いなべ東近江ラリ
ーカー大会の会場となっており石樽峠へ立ち入れないとの説明を受ける。しかたなく
茨川林道で登山口に向かうも評判通りの悪路で雨水を貯めた酷い水溜まりの凸凹道に
登山口まで到達できず再度撤退する。

奥永源寺溪流の里 (道の駅) に引き返し日本コバ登山に変更、鈴鹿 10 座ビジターセ
ンターで登山届を提出するとともに会長、リーダー部長、遭難対策副部長に登山先変
更の連絡を入れた。

11:00 に道の駅前登山者用駐車場を出発した。

如来堂から藤川谷コースに入る。梅雨時、雨上がり、沢沿いと悪条件が重なりコース
上は山ヒルの巣窟である。足元に注意しながら渡渉を繰り返す。この谷のシンボルカ
ツラの大木を見て岩屋手前の岩場を登り、政所コース分岐を左に進む。穏やかに下っ
て湿地に出て溪流の傍で昼食にする。



日本コバ山頂（934.2m）に14時30分到着し集合写真を撮る。下山は政所道とし、ゆるやかな尾根道を下る。ポイント番号2/14(標高488地点)からジグザクに一気に下ると政所町の茶畑に出た。アスファルト道に出入念にヒルチェック。大半の人がヒル被害にあっておりヒルの鈴鹿の洗礼を受けた山行であった。

一口感想

「急遽変更の日本コバでは登山者に殆ど出会わなかったのはやはり敬遠されているのかな。やはり鈴鹿ではこの時期はヒルの被害に遭うのが普通と思わねばならないのかも」 N尾

「ヒルに私の血液寄付いたしました（笑い）」 O村C子



《例会山行報告》

比叡山と祇園祭

日時：2023年7月14日 集合：JR比叡山坂本駅 8:30

参加者：CL K原、SL H部、F川、Y口Y、K林、H部M、H浦、A本、O村M、O村C、F野（記）

コース：坂本～（本坂ルート）～大比叡～つつじヶ丘（昼食）～（雲母坂ルート）

叡電修学院＝祇園四条＝四条地下道徒歩－四条烏丸～鉾町散策～河原町三条

今日の大津は昨夜のまでの雨もやみ朝方から曇り。京都市内も曇りの予報でまざまざの山行日和となる。

小生は京阪電車で坂本まで行き皆さんがJR比叡山坂本駅に集合して来るのを待った。皆さんが坂本駅に着くとCLより本日のコースなどの説明と熱中症の給水等注意事項があった。

8:55 ヒル対策にスパッツをつけ比叡山に向かいスタートした。

広い山道はよく降った雨の為、水を含んだ滑りやすい状態で気を付けながら進んだが、蒸し暑さはこの上なく汗をかきかきであった。

10:55 延暦寺会館前に到着。ここまでくればほっと一息。

11:00 売店などのあるところでトイレ休憩。ソフトクリームやかき氷で暑さをいやした。山頂近くに来ると涼しい風が感じられホットする。

11:45 山頂に着き全員で記念撮影。

12:10 つつじヶ丘に着き京都の街並みを見ながらの昼食をとった。30分休憩。

14:40 修学院離宮に下りてきた。山行のみ参加の3人とは京阪三条でお別れ。叡電、京阪を乗り継ぎ15:30 祇園四条着。ここより四条烏丸まで歩き2部の祇園祭を山鉾町の散策して見事な鉾や山を見学して堪能する。

17:00 河原町三条のアサヒS 京都に着き冷たいビールで乾杯、弾む会話を楽しんだ。





《個人山行報告》

鈴鹿の上高地テント泊

日時 : 2023年6月24, 25日

場所 : 鈴鹿愛知川源流域

参加者 : H島 CL、F野 (車)、T中T (車)、F川 (記録)

行程 : 5/24日(土) 8:30 琵琶湖米プラザ=10:40 朝明駐車場~12:30 根の平峠(昼食)~14:40 桂大木-テント設営

5/25日(日) 5:00 起床-6:30 テン場~7:30 大瀬~9:20 ヒロ沢合流地~

10:40 ハト峰~11:30 金山~11:50 中峠~12:30 水晶山~13:30 根の平峠~14:00 テン場(昼食)-テント撤収 16:00~16:30 根の平峠~17:30 朝明駐車場 解散~20:00 堅田

琵琶湖米プラザに集合、久しぶりのテント泊で皆ワクワクしている。荷物が多いので車2台で出発、奥永源寺道の駅で一休みし、国道421で三重県側の朝日駐車場へ。

駐車料金は2日で500円/台で安い、早速準備し舗装道路を10分程度行くと登山口に出た。16kg前後のザックはやはり非常に重く感じる。意を決し、じっくりと歩き始める。昨夜の大雨の影響か、小さい沢筋だが、水量は結構多い。何度も渡渉しながら1時間ほど登ると根の平峠に出た。昼食を摂り滋賀県側の愛知川源支流を30分程下



ると、本流との合流点に出た。このあたりは木々が茂り、見通しは良くないが、30m程上流に目印である桂の大木見つけた。あちこちに黒ずんだ炉跡が散点しており、今日のテント場としたが、落ち葉が濡れ、水平で乾いた場所をそれぞれ探し、テントを設営した。筆者は吊り下げられるツェルトを持参したため、ヒルが入ってこないようつなぎ部にマットを敷き、万全を期した。夕食の準備中 T中Tは溪流釣りに挑戦、成果は小さいなが



らアマゴが2匹、よく焼いてからからにして、熱めに爛をした日本酒に入れ、骨酒が出来上がり。にぎやかで楽しい夕食になった。20時就寝。

7/25日(日)は4:30起床、心配したがヒルにかまれることもなく無事であった。朝食を摂って、少し片づけ、大瀬までのピストンですぐ帰ってくる積りで、弁当と水のみで軽装で出発する。本流を裸足になって左岸に渡渉し、下り始める。10分ほど行ったところで、ヒルに気づき、各自調べたら、あー！！なんと2~5匹に全員やられ、洗礼を受けていた。1時間ほどで大瀬に着いたが、中峠方面に通じる釣り橋は壊れ、渡渉も対岸の道が見えず不可、ということで更に2時間弱、やぶ漕ぎや雑木林の中を進み、ヒロ沢との合流点にきた。急流や瀬場で大きい溪流魚が沢山いそう。ここでまた裸足になり、右岸に渡渉、ヒルに注意していたがやられていた。やぶ漕ぎ、渡渉を繰り返し、1時間ほどで羽鳥峰に到着した。頂上は見通が良い、目の下にハト峰峠、その向こうにペルーの地上絵を思わせる図柄が見えた。ここからは鈴鹿縦走路を中峠・水晶峠・根の平峠まで快適に、展望の良い尾根道を進み、14:00テン場に戻った。1時間ほどで遅い昼食を摂り、テントを撤収し再び重い荷物を背負い、17:30駐車場に戻った。



一口感想

「上高地と称するにふさわしい場所にテントを張り、焼き肉パーティー、最高でした。」 H 島

「久振りのテント泊鈴鹿の上高地？本当に楽しむことが出来ました。

仲間の皆さんに感謝！！」 F 野

「久しぶりに溪流釣りに挑戦した。小さかったがアマゴが2匹釣れたのは良かった。」 T 中 T 彦

<個人山行報告>

宝剣岳～木曾駒ヶ岳～三ノ沢岳

日時 2023年7月16日(日)～17日(祝) 16日 曇り(ガス)～17日 快晴

参加者 CL.記録,N尾・SLH島・T中T・F野

行程

(16日) 大津唐崎から車で0時半出発～中央道駒ヶ根下車～菅の台バスセンター4:10
バスとロープウェイで千畳敷駅まで～千畳敷駅 7:20～乗越浄土～宝剣山荘 8:15-40
～宝剣岳 9:00-17 (ピストン) 宝剣山荘 9:33-10:15～木曾駒ヶ岳 11:04-22～
中岳 11:57-12:04～宝剣山荘 12:30 宿泊

(17日) 宝剣山荘 5:45～千畳敷 6:25-50～極楽平 7:35-40～三ノ沢分岐 7:52-8:07
三ノ沢岳 10:40-11:25～三ノ沢分岐 14:18 極楽平 14:33～千畳敷駅 15:00

昨年も計画したが天候が悪くて中止したのでリベンジ。大津を夜中に出て4時過ぎに着きバス待ちで数百人の長蛇の列に並ぶ。ロープウェイで7時過ぎに千畳敷に着いた。ガスの中を乗越浄土まで登り近くの宝剣山荘へ向かう。宝剣岳へはヘルメットを着用して登る。ここの岩場は初級者向きルートとはいっても鎖場が続く油断禁物。しかし最高点の岩場には鎖がなくて登れず。ピストンして宝剣山荘へ戻り早い食事。次に木曾駒ヶ岳へは中岳を巻く破線ルートを歩く。さすが人気のある百名山で大勢登ってくる。天候が良ければ濃ヶ池方面を散策するつもりだったがやめる。帰路は中岳を通り宝剣山荘へは12時半頃に到着。早すぎるので時間を持て余す。連休なので宿泊者がかなり多いが我々だけの5畳程度の個室なのでゆっくり寛げて良かった。

翌日は日の出を見てから朝食。南アの向こうに富士山も見られた。やや難度が高いと言われる宝剣岳南稜の下りを避けてぐるっと巻く。今回メインの三ノ沢岳に向かう途中雷鳥親子に出会う。途中の鞍部付近は結構うっとうしい這松が続く。三ノ沢岳は中々立派な山容である。予想よりも多くの登山者に出会った。山頂で出会った人に百高山を目指しているのかと聞かれた。帰宅後に調べたら46番目でした。早いお昼にした山頂からは空木から南駒への稜線、転じれば御嶽、乗鞍、槍穂などの絶景である。昼寝でもしていたところだがピストンして千畳敷まで戻る。帰りは思ったよりロープウェイもバスもスムーズに乗れて菅の台の駐車場まで下山できた。昨日はガスガスだったが今日は最高の大展望に恵まれた中アを久しぶりに歩けた楽しい山旅だった。

<一口感想>

三ノ沢岳山頂からは、御岳山から槍ヶ岳等北アルプス南部の山々を眺め、甲斐駒ヶ岳さらには富士山と南アルプスの山々を遠望し、木曾駒ヶ岳から空木岳へ連なる稜線・南駒ヶ岳の雄姿を目のあたりにしました。三ノ沢岳は360度大展望を誇る日本アルプ

スド真ん中の山でした。また、朝焼けに染まった宝剣岳も印象的でした。 H 島

ずいぶんと昔(20才代半ば)になるが、中央アルプスを縦走した際、縦走路から三ノ沢岳を眺め、『一度、登ってみたい』と思った。そして、何度か計画を立てたが、仕事の都合や悪天候の影響などでなかなか実行に移せず、ズルズルと40年が経過してしまった。もうその山の存在すら忘れかけていたが、今回、リーダーからお誘いがあったおかげで念願がかなった。

三ノ沢岳は主稜線から少し離れていることもあり、私がイメージしていた通りの落ち着いた静かな山だった。

今度は逆に三ノ沢岳から中央アルプス縦走路を眺めると、「いつまで岩場が続くねん」と思いながら登った宝剣岳のこと、やけに中日ファンが多かった宿泊地の『木曾殿山荘』でタイガースを称賛し、ドラゴンズをけなしたことで周りから冷たい視線を向けられたこと、空木岳にリュックを置いて南駒ヶ岳をピストンし、空木岳に戻ってきた時、リュックのポケットに山小屋で知り合った女性が名前と住所の書いたメモを入れてくれていたこと(当時は意外とモテた)など、次から次へと縦走時の記憶が蘇ってきた。山は逃げない。「待っていてくれてありがとう」と三ノ沢岳に感謝した。 T 中 T 彦



三ノ沢岳をバックに

《会議報告》

2023年度第5回 運営委員会報告書

出席：N村、A本、N野、K林、K藤（記録）、F川、N村、T中T、H野

欠席：I東、K嶋、F野

場所：比良雪稜会事務所

日時 7月11日（火）19時30分～20時55分

1. 登山祭典（秋の野点山行）について（10/22(日)開催予定）

1) 登山祭典の山域について協議

余呉トレイル音波山ピストンとの案が出た。時間と体力の状況によりP902を目指す。余呉南越前風力発電事業計画による尾根やブナ林等の現況を見る事を兼ねる。次回8/9（水）のリーダー部会で最終決定する。

2. 水質調査と放射線測定について（11/3(金・祝)開催予定）

県連ニュース10月号に案内を載せるため、9月10日頃までに案内原稿を作る（近藤）

3. 労山の勧誘ちらしの作成依頼について

労山ジャーナル6月号に掲載された、労山の勧誘ちらし200部/年の印刷を全国連が無料で行ってくれるとの事。この勧誘ちらしを会員拡大の為に催し物や山行時に活用すればどうか。申し込みは各会より行い、申込時は県連にも連絡する。

→どのような活用方法にするのか、県連の意向が決まってから、当会で検討する。

4. 各担当より

・リーダー部 なし

・遭難対策・技術アップ なし

・会計 後期会費と労山基金の振込用紙を、8月号に同封するため用意した。

・自然保護：全国自然保護担当者会議の報告→ぶな及び県連ニュース8月号掲載予定、全国連からの交通費受取り済み、県連から参加費半額補助受取り済み。奈良県連が作った「トイレマナー袋」（トイレ使用済みの紙を持ち帰るための袋）を頂いたので、今後の清掃登山の参考にしたい。→費用など奈良県連に問い合わせ、当会でも作れるか検討する事になった。

・機関誌 久しぶりの印刷作業は、順調に終了した。

綾野山歩会飯道山の清掃登山に参加した報告書を会報に掲載できないか、F野氏に尋ねる事になった。

・労山基金 ぶな8月号に後期会費と共に振込の依頼をした。

・HP ホームページの原稿作成手順について、再度検討した。→例会報告書は、編集担当リーダーが山行リーダーから受取った山行報告書をHP用に加工して、ホームページ担当役員に送る事に決定。変更内容をぶな8月号に掲載する(F川)。トップページの「会報ぶな」のバナーからの次のページで、リンクが2022年で終わっているの、2023年分のリンクも作って欲しいとの意見があった。→事務局からHP担当者に連絡する。

・事務局 なし

5. 県連報告

1) 第5回 ZOOM 理事会が6/7(水)にリモート会議で実施された。

議題1. 清掃登山

- ・4日間実施し、終了。
- ・県連ニュース7月号に2023 清掃登山実施報告書を掲載。
- ・伊吹山清掃登山にアストラゼネカ米原工場より17名参加。
- ・不法投棄は写真を撮ってそれぞれの自治体に報告。

議題2. 初級登山教室

・5/21 バリエーションルート読図実技2「近江高島・見張山・三尾山周回コース」

- ・6/14 座学・クライミング2「確保システム・ピレイ・支点」予定
- ・6/28 座学・沢登座学「装備、遡行図等」予定

議題4. 初級読図コース

- ・第2回は6/25に「逢坂山」で実施予定。

議題5. 各部からの報告

- ・機関誌部 県連ニュース7月号(6/15原稿締切)
リレーエッセイ・写真はオフトレイルが担当。
- ・自然保護部 全国自然保護担当者会議に比良雪稜会のK藤氏が参加。滋賀県域山地で問題になっている①余呉・南越前ウインドファーム事業 ②三十三間山風力発電事業 ③美浜新庄風力発電事業 以上の動向を報告。
- ・組織部 交流山行 5/21 岳友会「三十三間山」、6/10 オフトレイル「岩湧」、7/15-16 オフトレイル「越前甲～加賀大日山」1泊2日テント泊、8/19 ちごゆり「高島トレイル ニノ谷山」
- ・教育遭対部 ハイキングレスキュー講習会を11/12(日)に実施決定。
6/11(日)の京都府連救助隊の勉強会に山友会より4名参加。

議題6. その他

- ・T中M行理事から講習会企画についての連絡。
講師・岸岡寛(兵庫県連・神戸クライマーズクラブ所属)に依頼予定。日程は未定。気象関連の講習会。
- ・全国連盟の会議予定等の連絡事項
全国救助技術交流集会 7/8(土)～7/9(日)北海道小樽市

2) 次回 第6回 ZOOM 理事会は7/12(水)に実施致します。

6. その他

- ・交通費は、8月より40円/kmに変更です。
- ・会員動向；現会員数42名。M藤氏が7月末で退会し、8月より会友となる。

8月の運営委員会は休会です。

次回 第6回運営委員会は2023年9/12(火)です。

<2023 年全国自然保護担当者会議報告書>

6月17日(土)～18日(日) 埼玉県長瀨町 民宿長瀨荘にて

6月17日(土)13:00～

とても天気の良い昼過ぎ、無残にえぐられた武甲山を見ながら電車に揺られ、上長瀨に着いた。民宿の別棟会議室に全国から集まり会議が始まった。

現地23名、ズーム15名、合計38名

主管の埼玉県連理事、主催の自然保護委員長の挨拶の後、山はみんなの宝クラブ副代表の森孝順氏による記念講演が始まった。元環境省山岳レンジャーである。テーマは、「地球温暖化による予想以上に進む山岳環境の変化を考える」。全国各地の国立公園の管理や海外の保護区調査をされた経験で知り得た現状を話された。「いま、山で何が起きているのか」森林の荒廃、生態系の攪乱・損傷・地球温暖化、入山者のルールとマナーなど。

印象に残った事。

- ・遭難者の原因一番は、道迷い！！(中高年、単独行はもちろん)。
- ・環境省の補助ですべての山小屋のトイレが改善された→外国人登山者の増加。
- ・ごみの持ち帰りから、し尿の持ち帰り運動への展開。
- ・地球温暖化によるブナ林の減少。

○山添全国連会長の基調報告

今年の方針

- ①第50回全国一斉クリーンハイク・清掃登山の実施。
- ②山岳自然を破壊する「リニア中央新幹線建設」「北陸新幹線延伸計画」に反対していく。
- ③山岳自然を破壊する大規模なウインドファーム発電事業計画、メガソーラー開発事業に反対していく。
- ④絶滅危惧種のライチョウを保護するために、目撃情報(写真・動画)を収集していく。
- ⑤「排泄物で山を汚染させない」ために、携帯トイレの携行と使用紙の持ち帰りを登山者に呼びかけると同時に、携帯トイレなどの回収ボックスの設置を環境省や自治体に要請していく。

○各地方連盟の報告

宮城県連 宮城労山の自然保護活動の主な取組みについて

千葉県連 磯根海岸波打ちぎわクリーンハイク報告

埼玉県連 勤労者山岳連盟の自然保護関係の活動

長野県連 長野県連の最近の取組み例、自然保護学習会

徳島県連 山岳自然環境の現状と課題

滋賀県連 滋賀労山:滋賀山友会が関係する風力発電について 三十三間山風力発電事業・美浜新庄ウインドファーム・余呉南越前ウインドファームの現状について、滋賀山友会の倉内氏宮内氏が作成した資料に沿って近藤が話した。

静岡県連 リニア新幹線問題を考える(オンライン)終了後、それぞれ宿に戻って6時30分より交流会を行った。

18日(日)8:30～各地方連盟の報告続き

奈良県連 ふるさとの自然を守り育てようクリーンハイクの取組み(オンライン)

京都府連 北陸新幹線延伸計画の現状と取組み

大阪府連 大峰山・立枯れ調査(オンライン)

神奈川県連 丹沢クリーンハイク報告

栃木県連 鹿沼市・日光市横根高原メガソーラ計画反対運動の経緯質疑応答後、10:30終了

全体の印象として、自然を破壊する風力発電や太陽光発電は、地元の反対やコスト高、売電単価下落で停滞している感じ。実際、北海道小樽の風力発電事業は中止になったようだ。また、奈良県連が皆に配った「山のトイレマナー袋」は、今後の活動展開の参考になりそうだ。

11:50 宝登山登山(参加者7人)

長瀨駅から北へ、小学校の手前から登る。途中有名な氷池の横を通る。冬に水を張り氷を取って、夏に天然かき氷として人気らしいです。実際参道ではたくさんの観光客が並んでいた。しばらくして長瀨アルプスの稜線に出た。気持ちの良い林の中を歩き、最後200段の階段を上って

13:40奥宮がある山頂(497m)着。階段の一部は最新の工法か、両脇に斜めに木



を組んでであった。崩れ防止?ロープウェイ山頂駅あたりは、ロウバイ園になってい

て1、2月は花がきれいで香しいらしい。宝登山神社に降り表参道を下って駅に着いた(14:40)。解散。帰

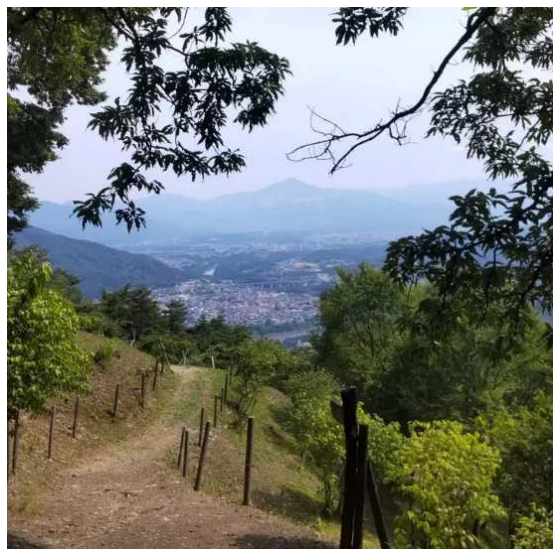
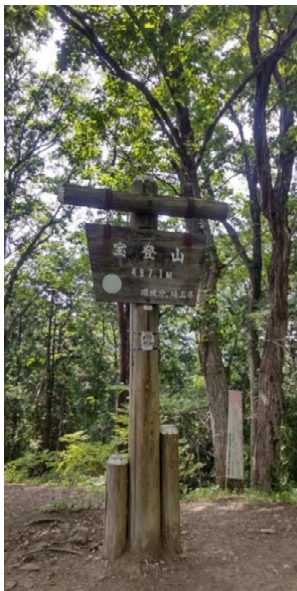
滋。

今日はやや曇りがちで更にずっと林の中を歩けたので、涼しかった。

他会の方々とおしゃべりしながら歩けたのは楽しかったが、地元の埼玉県連の方が

一人もいらっしやらなかったのは淋しく残念だった。

K 藤



長瀨の街と武甲山・両神山を望む

《自己紹介》

雪稜会の皆様、初めまして。

6月より入会いたしました，N村 H子と申します。

4月に催行された八ヶ峰山行に一般参加させて頂いて、皆さんの和気あいあいの様子を拝見させて頂き入会を決めました。

初心者で何も判らないところを心温かく受け入れてくださり、また声かけをしてくださったり心懸けるポイントを教えて頂いて有り難うございました。

趣味は史跡巡りです。

加えて徒歩で琵琶湖一周や東海道など旧街道を歩く事も好きなので、平地ならば相当歩ける自信はありました。

ところが八ヶ峰に登るときの皆さんの歩き（登り）のペースの速さや休憩を取るタイミングの違いを知って、皆さんがいかにも高い心肺能力と脚力をもっておられるのか思い知らされました。

私の能力では南アルプスなどの高山はとても登れそうにもありませんが、低山だったり街道歩きが皆さんと一緒に楽しめたらと思っています。

方向音痴なので地図が読めるようになりたい

趣味の山城にも登る仲間もほしい

比良雪稜会に入って、夢（妄想？）と希望で一杯になっております。

どうぞよろしく申し上げます。

N村 H子



2023年8月予定表

1	火		19	土	
2	水		20	日	
3	木		21	月	
4	金	夏山合宿 立山～大日岳～称名滝	22	火	「ぶな」原稿締切
5	土	夏山合宿 立山～大日岳～称名滝	23	水	
6	日	夏山合宿 立山～大日岳～称名滝	24	木	
7	月		25	金	
8	火		26	土	
9	水	第4回リーダー部会	27	日	
10	木		28	月	
11	祝 金	山の日	29	火	
12	土		30	水	
13	日		31	木	
14	月		編集後記		
15	火				
16	水				
17	木				
18	金				
9月の予定					
24	日	鈴鹿縦走 釈迦が岳～三池岳			
今月号と来月号の当番					
今月号は :					
来月号は :					



ぶな 2023年8月号 No. 533

滋賀県勤労者山岳連盟
比良雪稜会

滋賀県大津市和邇今宿 712-1 西村方

TEL&FAX 077-594-0454

E-mail kazuyo-buna@river.sannet.ne.jp

HP <http://www.eonet.ne.jp/~geonet/hira/>